

平成20年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	カーボンオフセットによる地球温暖化対策森林整備事業
事業主体 (連絡先)	飯田地球温暖化対策地域協議会 (飯田市環境課環境政策係)
事業区分	環境保全、景観形成及び産業振興、雇用拡大に関する事業
事業タイプ	ソフト事業
総事業費	2,283,650円 (うち支援金: 1,928,000円)

事業内容

カーボンオフセットの仕組みに基づく将来的な都市と山林を有する自治体の交流やそれに伴うCO2削減、吸収源確保のための森林整備について検討。

そのモデルとなる自然配植技術を用い、地域の子供たちの参画による植栽や樹木の持つCO2吸収量測定行事、専門家による講演会やモデル植栽地域を題材に今後の地球温暖化防止の観点からの森づくりに関わる現地踏査など、期間中多彩な事業を地域の関係団体、飯田市との協働で行った。



【モデル植栽の様子】

自己評価 (事業実施率)

【 A 】

事業効果

事業対象地域となった千代地区では、千代の山を守る会が発足し、まちづくり委員会等地域の関係者との協働でこれから地区の財産ともいえるべき山林を地球温暖化防止の観点からどう整備していくかについて議論が深まり、今後の展開のきっかけ作りになった。

自然配植技術という、新たな方法での植林について、関係者一同で理解を深めることができた。

地域の子供たちも参加し、次世代を担う年齢層に一定の普及啓発ができた。

【目標・ねらい】

●森林の持つ地球温暖化防止機能の視点からの森林整備について考え、モデル的に実践する。

今後の取り組み

都市部関係者がモデル植栽には参加できなかったが、飯田市が環境モデル都市の認定を受けたことに基づき、長野県や環境モデル都市である横浜市と、飯田の森林を活用した交流の可能性について議論を始めたところである。次年度は将来的な交流につながるきっかけ作りを横浜市等と行っていきたい。

自己評価 (目標達成率) 【A】

※自己評価欄は「A」90%以上「B」70~89%「C」50~69%「D」49%以下で示すこと。